

岩田地崎建設株式会社
株式会社レンタコム北海道
NTT東日本株式会社 北海道事業部

北海道の建設会社と建設テック関連会社による新コミュニティ 「Ruyne Base(ルイネベース)」が2026年4月始動

～北海道建設業界のDXにより、働きやすい現場づくりと若手育成を加速～

岩田地崎建設株式会社(代表取締役社長:岩田 圭剛、以下 岩田地崎建設)、株式会社レンタコム北海道(代表取締役社長:片桐 大、以下 レンタコム北海道)、NTT東日本株式会社 北海道事業部(執行役員 北海道事業部長:茂谷 浩子、以下 NTT東日本)は、北海道の建設業界におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、持続的な発展を目指す新しい建設DXコミュニティ「Ruyne Base(ルイネベース)」を設立しました。

コミュニティには北海道内の建設会社から萩原建設工業、荒井建設、田中組の3社が会員企業として、建設テック関連会社8社(Griffy、Arkit、RaisePLAN、セーフィー、L is B、SORABITO、SONAS、ネクストフィールド)がサポート企業として参加し、2026年4月1日より本格的な活動を開始します。



コミュニティ名「Ruyne Base(ルイネベース)」について

アイヌ語で「道を切り開く・導く」を意味する「Ruy(ルイ)」と、断定辞の「ne(ネ)」を組み合わせた造語「Ruyne(ルイネ)」に、「基盤・土台」を意味する「Base(ベース)」を加えることで、北海道を「切り拓くものである」建設業界の「土台(ベース)」を北海道建設業界全体で作っていきたいという思いが込められています。

■ 設立の背景: 深刻な人手不足を「技術」で解決する3社連携の発展

幹事となる3社は、2022年7月に締結した「北海道内建設業における課題解決に向けた3社連携協定」に基づき、ICT活用による生産性向上とICT技術者の人材育成において様々な実証を行ってきました。

これまでの3年間の実証により、具体的なICTサービスの開発と建設現場における実用性と効果検証が進んだことから、「この取り組みを北海道全体の建設会社に広める次のフェーズに進める」という合意と、今回の新組織の設立に至りました。

<3社連携における取り組み(一部抜粋)>

<建設現場内のWi-Fi環境の構築>

建設現場内を全てWi-Fi環境にして、カメラを網羅的に設置



<ダッシュボード上での現場センサー管理>



■ 設立の目的: 北海道内の建設会社と建設テック関連会社の力を集結し、北海道建設業全体を活性化

コミュニティには、北海道内の建設会社と建設テック関連会社が参加し、3社連携協定での取り組みの普及・拡大に加え、以下の目的で設立いたします。

1. 道内の各建設会社が保有するDXのノウハウ、建設テック関連会社とのリレーションを、北海道建設業界全体で活用
2. 道内の建設会社の要望を集約し、1社では実現できない技術開発を実現
3. 発注者や、協力会社とのICT活用を推進し、北海道内でのプラットフォームを構築

北海道の建設業へのデジタル技術の更なる導入により建設現場の生産性を向上させ、最新のテクノロジーを活用するスマートな現場を実現し、建設業界の「きつい・危ない」といったイメージを払拭し、若者が働きたいと思える魅力的な業界にすることで、北海道建設業界が抱える高齢化や人手不足の課題の解決を目指し、北海道の建設業界全体の持続的な発展と活性化に寄与していきます。

■ コミュニティの具体的な活動

コミュニティは、岩田地崎建設、レンタコム北海道、NTT東日本の3社が幹事会社として、各社のメンバーからなる事務局を運営しコミュニティの目的を実現するために、定例会やテーマを設定したワーキング活動を行なってまいります。

また、定期的に建設会社と建設テック関連会社が集まる交流会を開催する予定です。

現時点で設置を予定しているワーキングは以下の通りです。

- ・ロボット・ドローンWG: ロボットやドローンを活用した現場点検業務の自動化など
- ・通信インフラWG: 簡易かつ低コストでの現場のフルメッシュWi-Fi化の実現など
- ・教育ツールWG: 現場の新規入場者研修や、技術継承における動画プラットフォームの検討など
- ・AI /IoT WG: 現場のセンサー・カメラなどのあらゆるデバイスのデータ活用の検討など
- ・3Dデータ活用WG: MMSで取得される点群データやBIM・CIMデータの活用の検討など

■ 今後の展開について

今後コミュニティには、北海道内に本社を置く建設会社を対象に、広く参加を募ります。失敗を恐れず新しいツールを試せる場所として、各社が持っているノウハウをオープンにし、互いに協力し教え合えるカルチャーのコミュニティとして成長してまいります。

また、Ruyne Baseのホームページは近日中に公開する予定です。

会員条件:コミュニティの趣旨に賛同する、北海道内に本社がある建設会社
費用 : 当面の間、入会金・会費ともに無料

「Ruyne Base」は、会社の垣根を越えて手を取り合い、北海道の社会基盤や安全の守り手である建設業界の未来を切り拓いていきます。

【本コミュニティにおけるお問合せ先】

- ・岩田地崎建設株式会社 技術部ICT推進課 飯田 百合亜
mail: y-iida@iwatachizaki.jp
- ・株式会社レンタコム北海道 建設法人事業部 廣川 昌彦
mail: hirokawa@katagiri-g.com
- ・NTT東日本株式会社 北海道支店 第二ビジネスイノベーション部
mail: ruynebase-nttinfo-ml@east.ntt.co.jp

■ エンドースメント

株式会社Griffy

代表取締役

入澤 拓也様

「Ruyme Base」の始動を心より歓迎いたします。

これまで岩田地崎建設様、レンタコム北海道様、NTT東日本様が進めてこられた3社連携の実証フェーズにおいて、弊社も建設テックの立場から現場の課題解決に伴走させて頂きました。

今回のコミュニティ設立により、個社では解決が難しかった課題に対し、北海道の建設会社様と我々テック企業が直接手を取り合い、知見をオープンに共有できるプラットフォームが誕生したことは、業界のDXを加速させる大きな転換点になると確信しています。

弊社はサポート企業として、最新のテクノロジーを「誰もが使いやすい形」で現場に実装し、建設業界が若者にとってより魅力的で、持続的な発展を遂げられるよう、全力で貢献してまいります。

セーフィー株式会社

代表取締役社長CEO

佐渡島 隆平様

セーフィーは創業以来、パートナー企業やお客様との「仲間づくり」を軸に、新たなプロダクトやサービスの創出に邁進してまいりました。この度、北海道を代表する企業の皆様が集うこのネットワークに参画し、共に歩めることを大変嬉しく思います。弊社の強みである「映像×AI」を活用し、北海道における現場AXを強力に推進していく所存です。「三方よし」の精神に基づき、お客様、そして建設業界全体にとって実りあるウィンウィンな取り組みとなるよう、全力で貢献してまいります。

株式会社L is B

代表取締役社長CEO

横井 太輔様

この度、DXを通じた人手不足解消に取り組む本団体に参画できることを、大変心強く感じております。

建設業界は現在、深刻な人手不足という課題に直面しています。この問題は、地域インフラの維持・発展に関わる重要な問題であり、個社のみで解決できるものではありません。AIや現場DXの力で業務効率化・省力化を、皆さまとともに北海道の建設業界の未来を切り拓いていきたいと考えています。

SORABITO株式会社

取締役会長

青木 隆幸様

「Ruyme Base」の設立を心より歓迎いたします。

建設業界が直面する深刻な人手不足という課題に対し、北海道の建設会社と建設テック企業が手を取り合い、現場のDXを強力に推進するこの取り組みは、業界の未来を切り拓く大きな一歩になると確信しています。弊社は「はたらく機械のエコシステムを共創する」をビジョンに掲げ、業界のDXを通じて現場の生産性向上を支援しております。今回のコミュニティの活動を通し、若者が働きたいと思える「スマートな現場」の実現に貢献してまいります。北海道から建設業界の新しいスタンダードを共に創り上げていけることを楽しみにしています。

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ